

第3学年社会科指導案

日 時 平成24年10月17日(水)
児 童 男子12名 女子7名 計19名
指導者 佐々木 正輝

1 単元名 見直そう わたしたちの買い物

2 単元を展開するにあたって

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の目標(1)「地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。」と(3)「地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。」を受けて、内容(2)「地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。」のA「地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること」・イ「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」について扱うものである。地域の実態に合わせ、スーパーマーケットなどの販売に関する仕事について取り上げる。

永井小学校の学区は花泉地域の商店街からは実質的に離れているが、花泉の商店街はスーパーマーケット、コンビニエンスストア、農機具専門店、電気の専門店など形態が多様であり、それぞれの商店では、消費者のニーズに合わせた品揃えをしたり、チラシなどを利用して宣伝したりするなど、販売を促進し売り上げを高めるための工夫をしている。また、リサイクルボックスを設置したり、エコバックの利用を呼びかけたりするなど、環境に配慮した工夫を行っている商店もある。一方、消費者である地域の人々は、品質や価格、分量などを考えたり、安全性や環境保全を考えたりして商品を購入するなど、日々工夫しながら消費生活をしている。さらに、消費者のニーズを考慮しながら日本各地や外国で生産された商品を仕入れていることや商店で働いている人が他地域から来ていることなど、販売の仕事は、様々な面で他地域と結びついており、私たちの暮らしは、消費生活を通して他地域と密接にかかわりをもっている。

近年では、駐車場を備えた大型専門店も増えている。こうした「店」の多様化とともに、消費活動の形態も多様化している。通信販売・訪問販売、またインターネットを利用した販売など、直接店を通さない消費形態も増えている。このような消費生活の変化をふまえ、販売者と消費者の工夫を学習する中で、双方の工夫や努力が関連していることをとらえさせていきたい。

(2) 児童の実態

子どもたちは、「学校のまわりのようす」「私たちの町の様子」の学習を通して、学区には商店街のように場所によっては商店が集まっているところがあることなど、地域の特色に気づいている。また、「調べよう 野菜づくりの仕事」では、自分達が育ててきたブロッコリー販売の仕事を全児童が経験している。しかし、販売者が安全で品質のよい商品を仕入れて提供したり、消費者のニーズに合わせた品揃えを行ったりするなどの販売の工夫や努力を行っていることや、家庭でも品質や値段、量に気をつけて買い物をしたり、商品によって訪れる商店を決めたりしているなどの買い物の工夫を行っている子どもは少ない。また、商店で売られている商品が、どの地域から仕入れられたものなのか、買い物客はどこから来ているのかなど、商店と他地域とのつながりについて考えている子どもは少ない。

(3) 指導について

そこで、本単元では、子どもたちが販売側の工夫や努力についてより深く追究することができるように、調査活動や見学など具体的な活動を通して、子どもたちがスーパーマーケットの販売の様子や地域の人々の消費活動の様子、消費生活を通じた他地域とのかかわりについて、主体的に調べることができるようにしていく。そして、それらの活動や体験から生まれる問いを授業に位置付けることで、より深い追究が行われていくようにして

導入段階では、自分自身や家庭の買い物を調べたり振り返ったりする活動を通し、自分の問題としてとらえさせたい。買い物の傾向やよく行く店について話し合うことで、消費者は目的等によって店を選ぶことに気づき、店の特徴や工夫について調べていこうという意欲をもたせる。また見学の視点を確認し、1学期に体験したブロッコリー販売で工夫したことを振り返ることで、店の工夫に気付かせたい。展開では、スーパーマーケットの見学を行い、販売の仕事に着目させ、そこから多くの工夫や努力をとらえることができるようにする。終末段階では、消費者としての意識を高めるために、家の人が上手に買い物をするために工夫していることをインタビューさせ、それをもとに自分はどんなことに気をつけて買い物をしたいかを考えさせる。

これらの活動を通して社会的事象を比較したり、関連付けたり、総合的にとらえたりする力を育んでいきたい。特に、調べたことを交流しあう活動、それらを比較したり関連付けたりする話し合い活動、そこから分かったことを自分なりに文章にまとめたり作品に表したりする活動を充実させることにより、販売の工夫や他地域とのつながりについてとらえることができるようにしていく。

3 単元の目標

- 地域の人々の販売の仕事の様子や自分達の消費活動に関心をもち、販売や消費者の工夫、消費生活と他地域とのつながりについて、意欲的に追究しようとするとともに、販売の仕事と自分達の生活とのかかわりを進んで考えようとする。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 地域にある商店の販売の工夫や努力と消費者の関連や、販売の仕事を通じた他地域とのつながりについて考えとともに、適切に判断し、表現することができる。 【社会的思考・判断・表現】
- 販売の仕事の様子や家族の消費活動について必要な情報を集めて調べ、販売の工夫や買い物の工夫、消費生活を通じた他地域とのつながりについて、分かったことをグラフや白地図などにまとめることができる。 【観察・資料活用の技能】
- 地域にある商店が様々な工夫を取り入れながら販売の仕事をしていることによって、私たちの生活が支えられていること、私たちは品質・価格、環境などを考えて商品を購入していること、販売の仕事は国内外の他地域とのかかわりがあることを理解することができる。 【社会的事象の知識・理解】

4 単元計画と評価規準（全17時間）

過程	時数	<中・小単元> 学習活動	資料	評価
第一次 4時間	1	<1 買い物調べをしよう> ・これまでの買い物の経験について交流する。 ・自分たちの家庭では、普段どこで買い物をしているのかを話し合う。 ・家の人が、どの店で何を買っているのか、調べる計画を立てる。	・買い物調べカード	○自分自身や自分の家族の買い物の仕方について関心をもち、意欲的に調べようとしている。 <関 発言・ノート> ○家庭の買い物の様子について意欲的に調べ、みんながよく買い物に行く店についてさらに調べようとしている。<関 ノート・カード>
	2	・家庭の買い物の様子について調べ、その結果を表やグラフ・地図にまとめる。	・永井近隣の地図 ・表用紙 ・グラフ用紙	○家庭の買い物の様子について調べたことを、正確にまとめている。<技 表・グラフ・地図>

	1	<ul style="list-style-type: none"> 表やグラフをもとに、買い物の仕方の傾向や、よく買い物に行く店のよさについて考える。 よく買い物に行く店の様子や、そこで働く人の様子について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物調べカード 棒グラフ 買い物地図 	<p>○買い物の傾向やよく行く店の特徴について自分なりに考えたことを適切に表現している。</p> <p><思 発言・ノート></p>
第二次	1	<p><2 店を調べに行こう></p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットについて調べる計画を立てる。 店に行き調べることや、見学时に気をつけることなどを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 一関市社会副読本ホームページ 花泉町キャンブ 店内見取り図 	<p>○学習問題や予想・学習計画を考え表現している。</p> <p><思 発言・ノート></p> <p>○見学を通して、店の様子や、そこで働く人の様子などについて関心を持ち、意欲的に調べようとしている。<関 発言・ノート></p> <p>○見学を通して調べたことを、見学メモやノートに適切にまとめている。<技 メモ></p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットを見学して調べる。 		
9時間	1	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの人がスーパーマーケットで買い物をする理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 発見カード ノート 	<p>○見学で調べたことをもとに、消費者の思いを考え、適切に表現している。<思・発言 ノート></p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> 店のまわりや売り場の工夫を話し合う。 		<p>○販売者の側の工夫を消費者の工夫と関連づけて考え、適切に表現している。</p> <p><思 発言・ノート></p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> 店で働く人の工夫や努力について考えたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 発見カード 	<p>・多くの買い物客を集めるために、買う人のことを考えた売り方の工夫や努力を店が行っていることや、商品を通して自分たちの地域と他地域がつながっていることについて理解している。</p> <p><知 発言・ノート></p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットで売られている品物はどこから運ばれてきたのか調べたことを発表する。 		
	1	<ul style="list-style-type: none"> 品物の産地を地図に表し、さまざまな地域から品物が運ばれてくることをとらえる。 家族が気をつけている買い物の工夫を調べる計画を立てる。(調べ学習は、課外で行う。) 		
第三次	1	<p><3 上手な買い物をするために></p> <ul style="list-style-type: none"> 家の人たちは、品質、安全、値段、環境、量などに気を付けながらよりよい買い物をしていることをとらえる。 今までの学習を振り返り、自分はこれからどんなことに気をつけて買い物をしていきたいかをノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物調べカード 食品に付いているマークや食品表示や賞味期限 エコマークなど 	<p>・販売側が消費者の願いに応えるために様々な工夫や努力をしていることを、消費者の願いや工夫と関連付けて考えている。</p> <p><思 発言・ノート></p> <p>・自分のこれからの買い物のしかたについて根拠をもって考え、適切に表現している。</p> <p><思 発言・ノート></p>
	4時間	1		<p><店のポスターをつくってみよう></p> <ul style="list-style-type: none"> たくさんのお客さんが訪れるようなポスターを作ることを通して、お店側の工夫や努力、お客側の願いや工夫について振り返る。 <p>【工夫の視点】</p> <p>よい商品をより安く売る。充実したサービス 環境保全 健康や安全への志向 など</p>
本時	1	<p><賢い消費者になろう></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が店の人になったつもりで、お客さんのことを考えた店の工夫や努力を振り返りながらポスター発表をし、意見を交換しながら販売者と消費者の関係を確かめることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスター 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の求めていることや、販売者の工夫や努力について調べたことをもとに発表したり、店を選択する判断内容などを適切に表現したりしている。 <p><思 ポスター・ノート ・発表・発言></p>
	2			

5 本時の学習

(1) 本時の指導

前時までの学習では、これまで学習してきたことをもとに、販売者と消費者の願いの結びつきをとらえ、自分たちはどのような買い物の仕方をしていけばよいかをまとめてきた。そして販売者や消費者としての意識を高められるように、店の人になったつもりで、アピールポイントをまとめたポスターを作成し、学習のまとめを行ってきた。

本時では自分が店の人になったつもりで、ポスター発表を行う販売者側と、発表を聞き店を選択する消費者側に分かれ、考えを伝え合う場面を設定する。双方の考えを交流させることで、よりよい社会の一員として生活していくことができるように指導していく。

(2) 目標

自分が店の人になったつもりで、お客さんのことを考えた店の工夫や努力を振り返りながらポスター発表をしたり、店を選択する判断内容などを発表したりしながら、販売者と消費者の関係を確かめることができる。

(3) 手だてとのかかわりから

販売者や消費者の立場での思考を確かなものにするため、資料から必要な情報を読み取って考えを明確にし、意思決定できるようにするため、ノート（ポスター）に表現させていきたい。

（手立て1）

考えを広げ、深めるための言語活動として、販売者、消費者双方の立場で意見を交流できるようなポスターセッションの形式をとりたい。（手立て2）

(4) 評価基準

	評価規準	具体的評価規準A	具体的評価規準B	支援の手立て
評価	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の求めていることや、販売者の工夫や努力について調べたことをもとに発表したり店を選択する判断内容などを適切に表現したりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> ポスター・意見交流の様子・ノート	調べたことをもとに、消費者の求めていることと、店の工夫や努力と関連付けながら、多くの買い物客を呼ぶためにはどうしたらよいかを深く考えたり、店を選ぶ基準を発言したりしている。	消費者の求めていることや、店の工夫や努力について調べたことをもとに、多くの買い物客を呼ぶためにはどうしたらよいかを考えポスター発表をしたり、店を選ぶ基準を発言したりしている。	今までの学習を振り返り、店の工夫や努力の中で、ノートにまとめた内容や壁面の資料等から心に残っているものを想起させる。

(5) 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点・評価方法（*）	資料
問題の把握	1 前時の学習内容を確認する。 2 学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">かしこい消費者になろう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時に作成した店のポスターを準備し、どのようなポイントで作成したかを確認する。 	
5分	<ul style="list-style-type: none"> お店側とお客側に分かれ、店の工夫努力を伝え、たくさんのお客に選んでもらえるよう発表することを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前にポスター発表を行う店側とお客側を分けておく。 各店2分以内の発表とすることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスター
問	3 プレゼンテーションを行う。		

※ 前時までの学習（補足資料）

（1）前時までの指導

前時までには子どもたちは、自分の家の買い物調べを通して自分の買い物を振り返り、買い物の傾向やよく行く店の特徴についてとらえてきた。店の見学では、品揃え・価格・施設や設備・働いている人の様子などに、様々な工夫や努力をしていることを調べてきている。

本時ではこれまで学習してきたことをもとに、販売者と消費者の願いの結びつきをとらえ、自分たちはどのような買い物の仕方をしていけばよいかをまとめ、消費者としての意識を高められるようにする。

（2）目標

買い物客とスーパーマーケットの工夫にはどのような関係があるかを調べ、わたしたちはこれからどんなことに気をつけて買い物をすればよいのかを考えることができる。

（3）仮説とのかかわりから

○思考を確かなものにするために、視点を明確にしたノートづくり

○考えを深化させるために、調べたことをもとにして、自分の考えを明確にするための言語活動

（4）評価基準

	評価基準	具体的評価基準A	具体的評価基準B	支援の手立て
評価	消費者の買い物の工夫を調べ、消費者の工夫や願いと販売側の工夫や努力との結びつきについて考えることができる。 【思考・判断・表現 ノート・発言】	消費者の買い物の工夫や願いとスーパーマーケットが行っている工夫を対比し、どのように結びついているかを分かりやすく説明している。	消費者の買い物の工夫や願いとスーパーマーケットが行っている工夫を対比し、どのように結びついているかを説明している。	消費者の工夫や願いに焦点を当て、お店側がそれらを実現するためにどのようなことを行っているかを、資料を使いながら想起させていく。

（5）展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点・評価方法（*）	資料
問題の把握 10分	1 前時の学習内容を確認する。 2 調査結果を交流する。 ・値段 ・安全・安心 ・品質 ・環境 ・量 など 3 学習課題を設定する。	・スーパーマーケットの売り場の見取り図や写真を提示し売り場の確認をする。 ・家族が、スーパーマーケットで買い物をするとき気をつけていることについて調べたことを交流させる。 ・調べてきたことを交流する中で、消費者側の工夫や願いについて、観点ごとにまとめていく。	・写真（店内） ・見取り図
	私たちは、どんなことに気をつけて買い物をすればよいのだろう。		
問題の追及	4 消費者が買い物をするときの工夫や願いと、販売側が取り組んでいる工夫や努力との結びつきについて考える。（視点） ・買い物客は、安くて新鮮なものを	・消費者の商店に対する願いとスーパーマーケットが行っている工夫と努力を関連付けることによって見えてきたことや考えたことを話し合わせる。	・店内写真 ・消費期限 ・エコマーク

18分	<p>買いたい。 →スーパーは、特売品や値下げをして商品を安く売っている。 ・お客は、必要な分だけ買いたい。 →スーパーは、野菜や魚などいろいろな量に分けて売っている ・お客は安全で安心な商品を買いたい →スーパーは産地を提示して売っている。など</p>	<p>・販売側の工夫や努力が、消費者のニーズに合わせて行われていることについて、双方の例を示しながら説明させることで、販売側と消費者側の結びつきを具体的にとらえることができるようになる。 *消費者の買い物の工夫を調べ、消費者の工夫や願いと販売側の工夫や努力との結びつきについて考えている。 【思考・判断・表現】</p>	・リサイクルマーク
まとめ 12分	<p>6 本時の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 7 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>・スーパーマーケットの工夫と消費者の願いの結びつきについて、分かったことを自分の言葉でまとめることができるようにする。</p>	

(6) 板書計画

私たちは、どんなことに気をつけて買い物をするにしよう。

買い物の工夫と、お店側の工夫には様々な関係がある。

<値段>
<安全・安心>
<品質>
<量>
<環境>

・チラシ、広告
・特売
・割引 等

・健康
・油の量
・産地 等

・新鮮なもの
・消費期限
・賞味期限 等

・家族の人数
・必要な量
・小分けの品

・エコマーク
・リサイクル
・ポイント

(7) ノート

私たちは、どんなことに気をつけて買物をすれはよいのだろう。

買い物の工夫と、お店側の工夫には様々な関係がある。

調査結果	調べたこと・友達の考え
値段	
安全・安心	
品質	
環境	
量	

<自分の考え>

わたしは、()
と考えた。
わけは、()だからだ。